

『伊能忠敬研究』 第60号 目次一覧

■頁 表紙は -1、表紙解説・目次は 0 としています。
 ■凡 例 [ジャンル] ●=日記 ■=史料・資料 ◎=伊能忠敬 ○=周囲の人物 △=史跡めぐり
 [表 題] 《 》=誤記の訂正 例：伊能図探究 第一〇号 伊能図見て歩き (三) 《 (四) 正当》
 [] =内容の注記 例：伊能家文書紹介 十一 その二 枇榔嶋〔日向国臼杵郡〕

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日		
60号	表紙	1	表紙 伊能忠敬研究 二〇一〇年 第六〇号 史料と伊能図	伊能忠敬研究会	60--1	20101130		
		2	表紙図解説 米国議会図書館所蔵 伊能大図第135号 大阪〔大坂〕	鈴木 純子	60-0			
		3	目次		60-0			
	△史跡探訪	4	史跡探訪10 伊能測量隊・江ノ島の宿「夷屋吉右衛門」 忠敬先生宿泊の宿「夷屋（えびすや）」はいずこに （おおぬま あきら・マネー&キャリアマネージメントアドバイザー）	神奈川県藤沢市 在住 大沼 晃	60-1			
		話題Ⅰ	5	忠敬が購入か 伊能家の仏壇 現存するもっとも古い唐木仏壇 ルーツは江戸仏壇？ 東京仏壇 佐原伊能家の仏壇に共通 点 吉崎さん〔東京宗教用具商業組合専務理事〕が調査、確認	(千葉日報)		60-2 60-3	
	6		伊能忠敬関係資料の国宝指定 二三四五点 伊能忠敬記念館保管 国の重要文化財指定の昇格指定 歴史資料の国宝指定は歴史が浅く、慶長遣欧使節、琉球国王尚家に次いで三件目 （すずき じゅんこ・事務局長） 【官報（号外一三六号）平成二二年六月二九日付】文部科学省告示第九十五号（歴史資料の部）	鈴木 純子	60-4 60-5			
			7	伊能忠敬研究会二〇一〇年度総会報告	事務局		60-6	
		話題Ⅰ	8	きれいになりました!!	鈴木		60-7	
	9		伊能忠敬の歌『確かな一歩』を制定 声楽家・鴨川太郎さん、作詞者・柏木隆雄さん、作曲家・朝岡真木子さん	事務局	60-8			
			10	完全復元伊能図フロア展、着々と進行中 （わたなべ いちろう・名誉代表）	渡辺 一郎		60-9 60-10	
	●伊能大図 総覧	11	伊能大図総覧の地名と景観（十四） 飯山・須坂・松代 善光寺・姨捨山 （ほしの よしひさ・代表理事・（社）日本測量協会副会長）	星 埜 由 尚	60-11 60-16 60-20			
			新刊紹介	12	星埜由尚『日本史リブレット 伊能忠敬 日本をはじめて測った愚直の人』山川出版社			60-20
				13	沖方丁『天地明察』角川書店 渋川春海の生涯			60-20
	14	佐藤晃之輔『伊能忠敬の秋田路』無明舎出版			60-20			
	話題Ⅱ	16	「夷屋」を捜し求めての旅 （おおぬま あきら）	大沼 晃	60-20 60-21			
			◎石谷春香 レポート	17	研究レポート『伊能忠敬』（十） 忠敬の見た風景（その四）		石谷 春香	60-25
				18	横須賀市			60-27
	19	横浜市金沢区 八景島のホテルシーパラダイスイン 4泊目 湯河原から149.77km （いしや はるか・文教大学付属高等学校二年） 「伊能忠敬の見た風景」行程			60-34 60-35 60-36			
○榎本武揚	18	ロシアでの武揚〔公使として〕 明治七年三月十日横浜出帆 一行六名 明治七年五月一日巴里（パリ）到着 サンクト・ペテルブルグのヨーロッパホテルを当座の公使館とする 樺太、千島交換条約 明治八年十一月三日、日本公使館開館 マリヤ・ルース号事件		伊藤 栄子	60-37 60-38 60-39 60-40 60-41			

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日									
60号	○榎本武揚	18	武揚の手紙から	伊藤 栄子	60-41	20101130									
			明治十一年七月シベリヤを經由して帰国 「シベリヤ日記」を死後発見して出版 (いとう えいこ・古文書研究家)		60-42										
	研究ノート	19	名著『伊能忠敬』－その時代と人脈(四)	前田 幸子	60-43										
			『伊能忠敬』の構成とその特徴		60-44										
			「秤座」について				60-45								
			姫路の大谷家と岡山の大谷家はどちらも秤座〔縁戚関係はないらしいが〕					60-46							
			西三十三カ国神家秤座出店(林英夫著『秤座』)によれば、安政元年の岡山秤座当主は大谷弥右衛門						60-47						
			〔大谷亮吉の〕『伊能忠敬』執筆の動機							60-48					
			長岡半太郎〔大谷亮吉の師〕の日記〔を調べるもわからず〕								60-49				
			大谷亮吉の情熱の淵源〔を推測してみる〕									60-50			
			大谷貞四郎供隆という人物が『規矩術伝来の巻』によれば、伊能忠敬測量術の後継者と書いてあると紹介										60-51		
			伊能測量を継ぐ者 一般的には尾形啓次郎(渡辺慎)											60-52	
			備前岡山の下之町に、文化二年十二月一日〔1806.01.20〕から翌三年正月十八日〔1806.03.07〕まで長期滞在。昼夜観測を行い、木星交食も観測した。同じ町内の、秤座・大谷家からも見学に行ったのでは?												60-53
			『測量日記』によれば、岡山の弥右衛門、浅五郎、紹右衛門の三名が、文化三年一月二十日〔1806.03.09〕入門。浅五郎、紹右衛門は二月二十日まで、測量を手伝った(秤座の大谷弥右衛門かもしれない弥右衛門は、入門時のみの記録)												
(まえた こうこ・地方公務員)	60-55														
◎伊能塾講座		20	講演一 「伊能図とともに深化する私の雑学」 第五回例会(四月十八日実施)再録①	大沼 晃	60-49										
			①駿河国 「広沼・浮島が原」		60-50										
			②相模国 吉田新田と横浜			60-51									
			③国際貿易港・浦賀と咸臨丸				60-52								
			④近江国 安土周辺の干拓事業					60-53							
			⑤国境の島 対馬						60-54						
万関橋(久須保水道=万関瀬戸)		60-55													
横須賀の新井掘割水路			60-56												
九州支部だより				22	九州支部例会報告 三つの講演と「伊能中図」、そして感謝(いしかわ せいいち・九州支部長)	石川 清一				60-57					
					忠敬談話室		23			①惜別 伊能忠敬研究会顧問 伊能陽子さん	朝日新聞社 清水 弟さん	60-58			
24 ありがとうございます				伊能 洋		60-59									
25	② 梅香る陽子様へ			札幌市在住 伊能 二三代		60-60									
	26 ③ 戦時中の二冊の忠敬本の紹介	逗子市在住 秋間 実				60-61									
27	藤田元春著『伊能忠敬の測量日記』日本放送出版協会 一九四一年		逗子市在住 秋間 実	60-62											
	伊藤弥太郎著『伊能忠敬』新潮社 一九四三年														
27	②《④ 正当》星埜由尚『伊能忠敬－日本をはじめて測った愚直の人－』の刊行をよろこぶ	逗子市在住 秋間 実	60-62												
	28 お便りから			60-63											
お知らせ	29 例会案内～第七回～		60-64												
会員便り	30	会員情報		60-64											
		入会 伊藤信男 伊能恵理 狼芳明 大西道一 高安克己 竹村基 堀野正勝 谷田部勝男													
		退会													

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日
60号	日々の話題 お知らせ	31	日々の話題		60-64	20101130
		32	お知らせ		60-64	
		33	譲ります		60-64	
	奥付	34	研究会案内・投稿規定・HP・編集後記 (M)	(M)	60-65	
		35	2010年11月30日発行 発行 星埜 由尚 伊能忠敬研究会	編集 前田 幸子 発行 星埜 由尚	60-65	
		36	裏表紙 (英文目次)		60-66	